



強くなれる選手



この「青少年育成センターだより」を読んでおられる方の中には、子どもが「スポーツ少年団や中・高の部活動に入部しているよ」と言われる方も多いのではないのでしょうか。

子どもたちは、「相手に勝ちたい」「もっと上手になりたい」という思いで一生懸命に練習に励んでいることでしょう。取り組んでいる内容が、体育系でも文化系でもその思いは同じです。保護者のみなさんも、子どもの頑張る姿に力をもらいながら、声援を

送っておられることでしょう。

ここで、どう取り組みれば上手くなれるのか、勝ちたいという目的が達成できるのか、考えてみましょう。

【強くなれる選手】

- 1 目的・目標をしっかりとっている
- 2 自己管理ができる
- 3 他人の話が素直に聞ける
- 4 計画性をもって生活ができる
- 5 他人の良い所を素直にまねができる
- 6 自己に厳しく、他人に甘えない
- 7 心の持久力、我慢・辛抱ができること
- 8 感謝の心がある
- 9 練習時間に少し早めに集合し、練習準備ができる
- 10 常に積極的である
- 11 練習内容が理解できる
- 12 監督コーチの近くにいることができる

これを書かれた人は、現役時代はある高校の陸上競技の指導者として数多くの日本一の選手を育てられました。また、高校教員退職後は大学の陸上部の監督となり箱根駅伝でも学生を優勝に導かれた先生です。陸上競技の指導者としては、一流の指導者の一人です。

これは、多くの選手たちを育てながら、「強くなれる選手」とはどんな選手なのかということをもとめられたものです。これには、強くなるために必要なこと、大切なことが網羅されていると言えるでしょう。中高生になれば、書いてある内容を理解できるはずで、自分にできていることは何か、そして、まだできていないことが何かを考えさせてはどうでしょうか。また、これを基に子どもさんと話し合ってみられてもいいでしょう。

読まれて、気づかれたと思いますが、ここに記載されていることの中には、競技者というよりは、人として生きていく上で大事なことが多くあります。きちんとした生活ができている者が競技者として強くなれるということなのでしょう。

スポーツ少年団や部活動を通して、子どもたちには人として生きていくための大切なことを学んでほしいものです。また、子どもたちを指導しておられる先生方や指導者は、「人間教育」に重きをおいた指導をすることが大切なのだと思います。

(文責＝青少年育成センター指導員 藤村)